

とちぎ義博 議会レポート

第29号 2005年 秋号

発行者: 福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ホームページを開設しました
http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/



9/20 震災対策特別委員会 福岡沖地震、今後の備えに議論集中!

とちぎ義博は、震災対策特別委員会(9月20日)で、警固断層調査と被害シミュレーションの実施、民間建築物の耐震化促進と住宅再建共済制度の創設などについて、民主・市民クラブを代表して質問しました。3月20日に発生した福岡県西方沖地震から7ヶ月が過ぎて、震災対策の課題は、直接的な被災者の救済とともに地震等自然災害に対する今後の備えに移ってきました。

(福岡市)事業の内容は、住宅・建築物の耐震診断、耐震改修に補助するもので、マンションやビルのエレベーターの改修、玄関ドアの耐震化などを進めたいと考えている。

県に働きかけへ!住宅再建共済制度

(栃木)警固断層などの調査に加えて、自然災害による被害額想定をシミュレーションするなどして、基金などの制度設計により復興資金の調達を準備しておく必要があるのではないですか。

(福岡市)復興のための資金調達については、今後の大規模災害発生に備え、検討する必要性を認識している。しかし、市単独での基金創

設は財源調達など課題が多く、今後の国および関係自治体の動向も見ながら研究していく。(栃木)「住宅再建共済制度」の創設について、福岡県に働きかけて県・市共同で制度創設について協議を進めるべきだと考えますが、本市にはその意志がありますか。仮に、本市がそのような働きかけをしているのであれば福岡県の考え方や反応などについての状況を聞かせてください。

(福岡市)「住宅再建共済制度」については、大規模災害時の相互扶助の点からもその意義を認識している。安定した制度運営には、被害想定などの課題も踏まえた広域性を考慮する必要があり、県との協力が必要と考えているので、県に働きかけていく。

衆院議員総選挙、お世話になりました。



9月11日の衆院議員総選挙では、福岡3区(早良区・西区・前原市など糸島郡)の民主党・藤田一枝さんに、前回は上回る104,734票のご支持をいただきながら、再選を果たすことができませんでした。選挙中に皆様からいただいた激励のお言葉やご支援にお応えすることができず残念であります。選挙中に訴えました、待たなしの年金や医療、少子化対策など社会保障制度を確立する「暮らしの改革、安心社会の実現」に向けて今後も頑張る決意です。皆様には変わらぬご支持をお願いいたします。

(福岡市議会議員 栃木義博)

天神・西新問題の解決策を探る! (連載・上)

“ぶらぶら歩きしたい街に”

＜英国オックスフォードの交通まちづくりに学ぶ＞

福岡市は、20年後をピークに人口140万人台までに増加しつづけると言われていますが、天神や博多の都心部への人やクルマの集中で、交通渋滞による都市の魅力の減退が世界の各都市の共通の悩みになっています。いっぽうで、クルマ社会による郊外部への物販施設の進出で、衰退の心配されている西新などの地域中心地(副都心)の新たな魅力創出が期待されているところです。「福岡の都市づくりと交通を考える会」(福留久大会長・九州大学名誉教授)の調査団は05年8月、そのヒントを得ようと英国オックスフォードとロンドンの交通まちづくりを視察しました。

(栃木)オックスフォードは人口約14万人の都市圏ですが、英国で最初に、郊外部でマイカーからバスに乗り換えて通勤する、パークアンドライド(P&R)を実施しています。

(下村)中心市街地に流入する自動車を抑制するために、郊外5箇所まで収容5千台の駐車場を使って実施しています。例えば、中心部から約5kmにあるイートン・ウォーターのP&Rでは収容1千台の駐車場1日の駐車料金は約120円、乗り換えるバスの往復料金は約380円で、合計1日約500円です。その駐車場はクルマで埋まっていたよ。都心の公共駐車場の料金は1日約3千円で、政策的に高く設定されていますから。



(三久保)この13年間でマイカーとバス利用は逆転。マイカーは3分の1減少しバスは倍増しました。その結果、昨年のマイカー利用35%に対してバス利用は50%となり、市街地の賑わいが増えたようです。さらに、自動車を利用しなくて済むように、バスからバスに乗り換える新たなバス交通を検討中です。

(福留)ここは大学町でもあり、中心市街地に多くのカレッジ(学生寮)がありますが、自転車を利用する若者を多く見ました。自転車が



オックスフォード大学のカレッジ中庭

クルマ社会を抑制しているという思いがけない発見です。

(栃木)賑わいのある中心市街地をつくるためにバスなどの公共交通を活かした手法を選択していますが、まちづくりの考え方は何ですか。



(福留)ハイ・ストリートという目抜き通りは、夜間を除いてバスだけに通行が許されます。また、市街中心のマーケット・プレイスという通りは、1999年から歩行者天国にして賑わいを取り戻しました。道路をあげず、中心街の建造物をそのまま残していますが、「市民の共有財産」という意識が強いですね。(下村)手付かずで残すという意味では、街から2-3kmも離れたところとコモンズと言われる広大な草地(市民の通行権が認められた私有地)が広がっており、環境保全に対するその徹底した意識には驚かされました。

(三久保)オックスフォードは自動車工場のある生産都市でもあります。平均所得も高く、環境に対する市民意識の高さが、歩行者天国をはじめP&Rやバス優先の自動車抑制政策を成功させているのではないのでしょうか。



(栃木)オックスフォードのまちづくり理念と交通政策は示唆に富んでいます。福岡市に応用する場合の課題は何でしょうか?



ハイ・ストリートのバス専用道路



マーケット・プレイスの歩行者天国

(三久保)オックスフォードに習えば、歩行者を増やしてメリットのあるところ、あるいは守るべきもののあるところは何処かと言えば、福岡では歴史性と集客力が備わる西新(早良区)あたりになるのではないのでしょうか。

(下村)住民参加による市民と行政協同の道路開発手法は注目されます。事故多発、衰退した商店街、多民族の移住など様々な問題を抱えた地域コミュニティの意思を反映させる手法は見習うべきです。

(福留)中心市街に流入する自動車交通を抑制するには、外環道路の有無は大きいのでは。福岡市では外環状道路による通過交通の排除とバスなど公共交通の濃密なサービス向上に期待されていると思います。



(次号に続く)



(左から)
三久保慎一さん
株式会社KCS 技術顧問
福留 久大さん
九州大学名誉教授、
福岡の都市づくりと交通を考える会 会長
下村 仁士さん
交通ジャーナリスト
(聞き手)
栃木 義博
福岡の都市づくりと交通を考える会 事務局長

賑わった博多湾クルーズ 船内は炭鉾節で踊りの輪



絶好の好天となった9月18日、博多湾クルーズ(とちぎ義博・浜風のつどい)を開催しました。とちぎ義博が、福岡沖地震の教訓を踏まえた今後の備えなど、福岡市政の重要課題と取り組みの姿勢について報告しました。今年も藤田一枝さん(前衆議院議員)、家原松夫さん(福岡県議会議員)のほか、福祉施設などでボランティア活動する「野の花の会」の皆さんが駆けつけていただき、安来節(どじょうすくい踊り)などの演芸を披露してくれました。満員の船内は、炭鉾節で踊りの輪がぐるぐる回っていました。

☆ボランティアの皆さんを募集しています☆

この議会レポートをご町内やマンションに配布のご協力をお願いいたします。(連絡先 845-7669)